

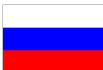
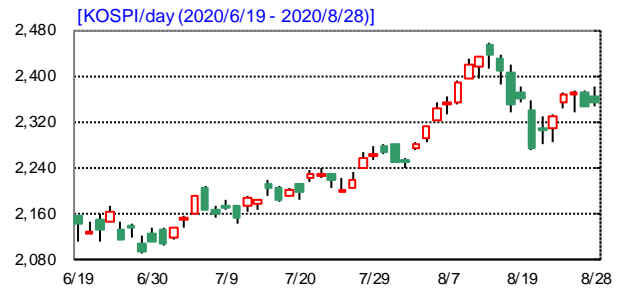


【韓国】 総合指数は週間で 2.1%高と反発、韓中銀は経済成長見通しを引き下げ

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 2.1%高と反発。前週に急落した反動で総じて買い戻しが優勢の展開だった。ハイテク株比率の高い米ナスダック総合が連日で過去最高値を更新するなど、米株高を受けて投資家がリスク選好姿勢を強め、週明け 24-26 日は 3 日続伸。サムスン電子や SK ハイニックスなどハイテク株が買われ、指数は連日で上値を広げた。ただ、韓国国内の新型コロナウイルス感染再拡大が引き続き重荷で、1 日当たりの新規感染者数が 400 人超となった 27 日は前日比 1.0% の下落。韓国銀行（中央銀行）が 20 年の経済成長率見通しを引き下げたことから景気の低迷が長引く懸念が強まったものの、28 日は小幅に反発して終えた。今週も国内の感染状況や米株式の動きに注目。経済指標では GDP 成長率改定値や製造業 PMI が発表される。

▼指数チャート

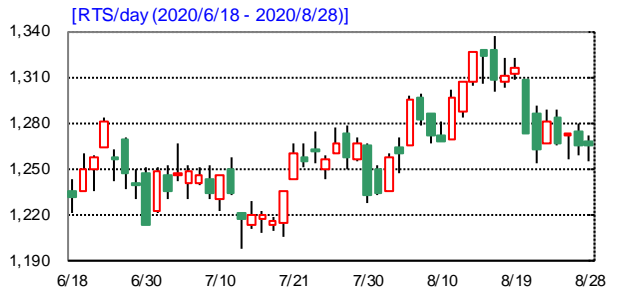


【ロシア】 RTS 指数は 0.3%高と反発、今週はベラルーシ問題をにらみもみ合いか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 0.3%高と反発。欧米株高、原油高、ルーブル高を受けて週初に大きく上昇したが、その後は地政学的リスクなどが意識され、伸び悩んだ。週明け 24 日はコロナ治療薬への期待を背景にした欧米株の上昇や原油高、ルーブル高を追い風に指数は前営業日比 1.5%高と大幅に反発。その後はベラルーシを巡る地政学的リスクが意識されてルーブルが下落した上、原油相場が反落し、上値を抑えた。個別では産金のポリメタル・インターナショナルが 5.8%高、ポリユスが 3.8%高と上昇した一方、資源のノリリスク・ニッケルが 2.9%安、エネルギーのノバテックが 2.2%安、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが 2.1%安と下落し、指数の重しとなった。今週はベラルーシ問題の先行きをにらみ、もみ合う展開か。

▼指数チャート



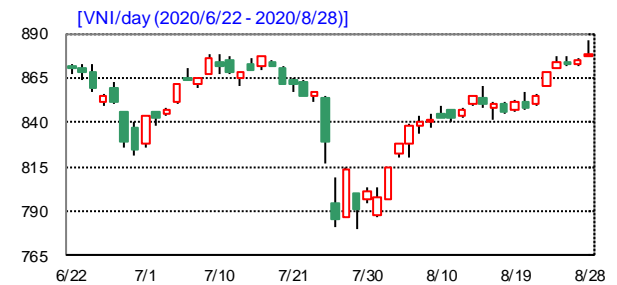
【ベトナム】 ベトナム指数は 2.8%高と 4 週続伸、今週も米国株高を追い風に堅調

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 2.8%高と 4 週続伸。米国株高を追い風に堅調な展開が続き、指数は 2 カ月半ぶりの水準を回復した。前週末の米国株高を好感して週初の 24 日に続伸すると、コロナ治療薬への期待などを背景に米国株がその後も堅調に推移し、こうした流れがベトナム市場にも波及した。対主要通貨で米ドル安が進んだことも新興国市場への資金流入期待を高めた。指数はわずかに下落した 26 日を除き 4 日間で上昇し、6 月 10 日以来の水準を回復した。個別では携帯・家電小売りのモバイル・ワールド・インベストメントとエネルギーのベトナム石油総公社が 2 桁高となったほか、金融のテクコムバンクが 6.1%、ベトナム投資開発銀行が 4.1%、不動産のビンググループが 4.4%上昇した。今週も米国株高を追い風に堅調な展開か。

▼指数チャート

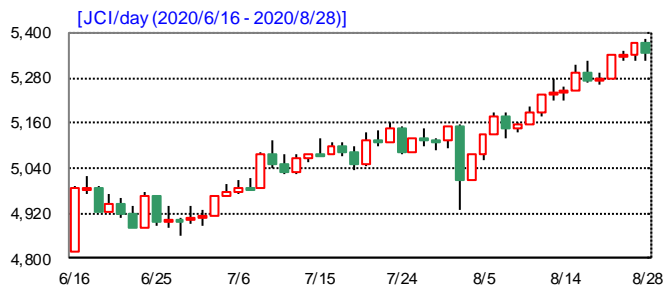


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.4%高、終値で 5300 ポイント回復

ジャカルタ総合指数は週間で 1.4%高と 3 週続伸。国内の重要イベントが少ない中、おおむね堅調な値動きだった。週初の 24 日に小幅反発すると、25 日は前日の NY ダウが新型コロナウイルス感染症の治療法の特別認可を好感して、約半年ぶりの高値を更新した流れを引き継ぎ、前日比 1.2%高と節目の 5300 ポイントを回復。その後もじりじりと上値を広げ 27 日まで 4 日続伸したが、28 日は国内の新型コロナウイルスの 1 日当たりの感染者数が増加傾向にあることで売られ、反落して引けた。今週は 1 日に 8 月の CPI が発表される予定。外部要因では中国の 8 月の公式製造業 PMI と財新製造業 PMI が意識されそうだ。

▼指数チャート

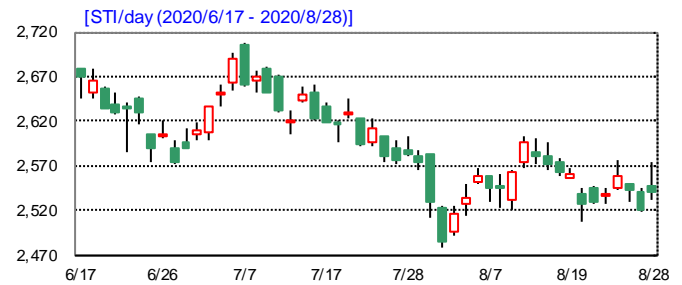


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.4%高、今週は 8 月の製造業 PMI に期待

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.4%高と反発。週末の上昇が奏功した。週初の 24 日は 7 月の CPI 下落率が前年同月比 0.4%と 4 カ月連続で前年の水準を下回ったものの影響は小さく、指数は続伸。25 日は米中貿易協議に進展の兆しが見えた効果で買われたが、26 日は 7 月の鉱工業生産が前年同月比 8.4%減と市場予想から下振れした影響で 4 営業日ぶりに反落した。27 日も売り優勢の展開が続いたが、28 日は前日の NY ダウが、パウエル FRB 議長が示した金融政策の新指針を好感して上昇した流れを引き継ぎ、反発して引けている。今週は 3 日に 8 月の製造業 PMI、4 日に 7 月の小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート

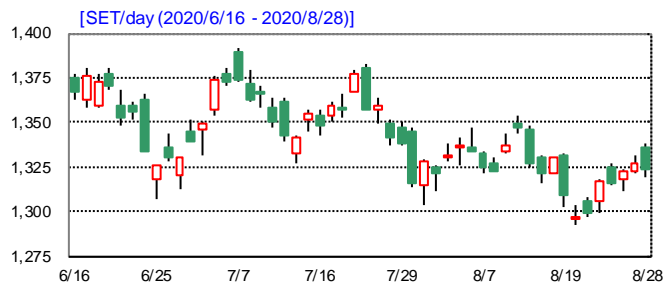


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.9%高、原油価格上昇でエネルギー株に買い

SET 指数は週間で 1.9%高と反発。週初の上昇が指数を押し上げた。24 日はメキシコ湾にハリケーンが接近した影響で石油生産施設の約半数が閉鎖され、原油先物価格が上昇したことを受けてエネルギー株が買われたほか、7 月の貿易黒字額（通関ベース）が市場予想から上振れたことも奏功し、指数は前営業日比 1.4%高と終値で 3 日ぶりに 1300 ポイントを回復。その後は週末まで終始この水準を維持しながら、小幅なレンジでの値動きが続いた。今週は 3 日に 8 月の消費者信頼感指数が発表される予定。長引く反政府活動の動向も意識されそうだ。4 日は延期されていたソンクラーン（旧正月）の振替休日のため休場。

▼指数チャート

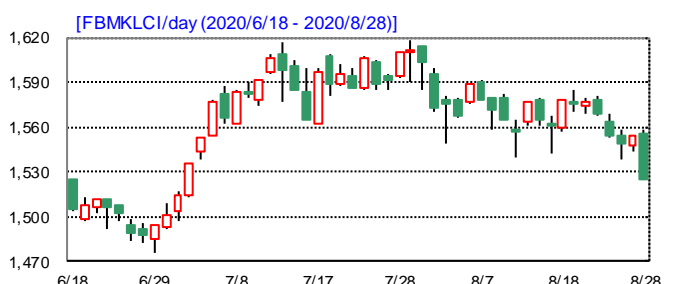


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 3.3%安、ゴム手袋メーカーに利益確定売り

クアラルンプール総合指数は週間で 3.3%安と反落。週末の下落が指数を押し下げた。週初の 24 日はニトリル手袋の原材料工場の新設を発表したペトロナス・ケミカルズ・グループが指数下落を主導し反落。25 日は新型コロナウイルスの感染拡大を背景に株価が上昇してきたゴム手袋メーカーに利益確定売りが出て続落した。26 日まで 3 日続落した後、27 日は反発したが、28 日は 4-6 月期の純利益が 66%減少した投資持ち株会社のハップセン・コンソリデーテッドなどが売られ、指数は前日比 1.9%安と反落している。今週は経済指標の発表が少なく、外部要因に左右される展開か。31 日は独立記念日のため休場。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。